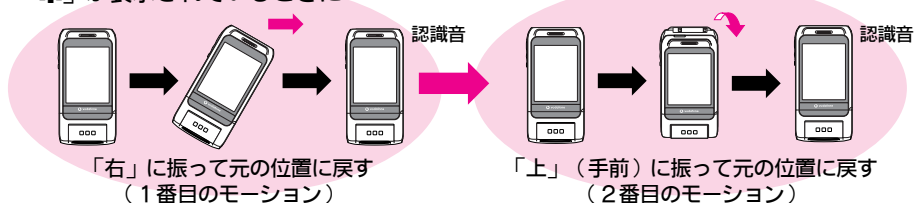
簡単な操作で機能を呼び出す

よく使う機能やデータなどを簡単な操作で呼び出して利用できます。（ユーザーショートカット）

●ユーザーショートカットの呼び出し方は、ダイヤルボタンを長く（１秒以上）押して呼び出す方法（☞下記）と、V501SHを「上」、「左」、「右」のうち２つの方向に振る動作の組み合わせ（モーションパターン）で呼び出す方法（モーションコントロールショートカット）の２種類があります。

■例：「右」＋「上」のモーションパターン

●お買い上げ時に登録されているユーザーショートカットとそれぞれの呼び出し方は次のとおりです。変更もできます。（☞P.15-29）

ユーザーショートカット	ダイヤルボタンでの呼び出し	モーションコントロールショートカットでの呼び出し（モーションパターン）
アドレス帳検索	1（長押し）	―
自動応答メール設定	2（長押し）	―
簡易電卓	3（長押し）	―
リピートアラーム設定	4（長押し）	―
着信設定	5（長押し）	―
画面表示設定	6（長押し）	―
受信メール	7（長押し）	上・上（）
簡単メール宛先（スカイメール）	8（長押し）	左・左（）
Vアプリライブラリ	◎（長押し）	―

●9、0、#も利用できます。（☞P.15-29）

ユーザーショートカットを利用する

ダイヤルボタンでユーザーショートカットを呼び出す

1 **1〜9、*、0、#、◎のいずれかを長く（１秒以上）押す。**

登録している画面が表示されます。

●データが登録されているときは、登録されているデータが表示／再生されます。

15 その他の機能

- ●Ⓢを押したあと、表示する画面のダイヤルボタンを押しても利用できます。

ユーザーショートカットが利用できないとき

次のときは、その機能内へのユーザーショートカットは利用できません。

- ■メール機能、ウェブ機能、ステーション機能、Vアプリ機能を機能停止（OFF）にしているとき
- ■メモリカードが取り付けられていないとき

ユーザーショートカットに登録しているデータを消去していたとき

ユーザーショートカットでデータを表示しようとすると、確認画面が表示されます。「1YES」を選び◉を押すと、ユーザーショートカットが消去され、ユーザーショートカットの画面に戻ります。

モーションコントロールショートカットでユーザーショートカットを呼び出す

- ●お使いの前に、必ず「**モーションコントロールをお使いになる前に**」（☞P.1-14）を参照してください。
- ●ビューアポジションでもユーザーショートカットを呼び出せます。
- ●クローズポジションでは利用できません。
- ●「」が表示されないときは利用できません。このときは、Ⓜを押して「」を表示させてください。
- ●V501SHをオープンポジションにしたときや、パネルセーブが解除されたとき、Ⓜを押さなくてもモーションコントロールショートカットを利用できるように設定することもできます。（クイックショートカット：☞P.15-30）

1 ⓂまたはⓈを押す。

ユーザーショートカットの画面が表示されます。

2 モーションパターンの動作を行う。

- ●10秒以内［タイムアウトする時間（☞P.15-30）］に1番目と2番目の動作が認識されると、それぞれの動作の認識音が鳴り、登録しているユーザーショートカットが表示されます。認識音の音量は設定できます。（☞P.8-6）
- ●10秒以内［タイムアウトする時間（☞P.15-30）］に動作を行っても認識されなかったときや、動作を行わなかったときは、エラー音が鳴り、ユーザーショートカットの画面に戻ります。操作1からやり直してください。

- ●モーションパターンの動作は、1番目の動作の認識音を確認したあと、2番目の動作を行うと認識されやすくなります。
- ●「」が表示されているときにⓂを押すと、「」が消え、モーションコントロールショートカットは動作しなくなります。

- ●V501SHを強く振りすぎないでください。誤ってV501SHを投げてしまったり、手首を痛めたりする原因になります。
- ●V501SHを落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- ●モーションコントロールショートカットは振り方の個人差により、正しく認識しないことがあります。認識しやすいモーションパターンを登録してご使用ください。
- ●モーションコントロールショートカットが正常に動作しなくなったときは、モーションコントロール補正（☞P.15-22）を行ってください。

ユーザーショートカットに登録する

ダイヤルボタンのユーザーショートカットを設定する

●ユーザーショートカットに登録できる画面では、「」が表示されます。

1 機能一覧またはファイル一覧で、登録する機能名やファイル名を選ぶ。

2 [スケジュール/メモ]を長く（1秒以上）押す。

3 登録先を選び、◉を押す。

■ 上書き登録時：「1YES」選択➡◉

●ユーザーショートカットに登録すると、自動的に登録名が付きます。登録名は変更することもできます。（☞P.15-30）
●Vアプリを⓪（長押し）に登録することもできます。
（ダイレクトキー登録：☞ P.12-4）
●上書き登録した内容を消去すると、お買い上げ時の登録内容に戻ります。

モーションコントロールショートカットを設定する

ユーザーショートカットを呼び出すときのモーションパターンの登録や変更を行います。
●モーションパターンの動作の認識が終わる（タイムアウト）までの時間も設定できます。
●クイックショートカット（☞P.15-30）を設定することもできます。

1 ⓪を押す。

2 ユーザーショートカット項目を選び、（メニュー）を押す。

3 「モーションコントロール」を選び、◉を押す。

4 *モーションパターンを登録／変更する*

1「1モーションコントロールON／OFF」を選び、◉を押す。

2「1ON」を選び、◉を押す。

■ 登録済のモーションパターンを削除する：「2OFF」選択➡◉

3「1上（1往復）」～「3左（1往復）」のいずれかを選び、◉を押す。（1番目のモーション）

●◎（ガイド）を押すと、モーションを説明するグラフィックが表示できます。

4「1上（1往復）」～「3左（1往復）」のいずれかを選び、◉を押す。（2番目のモーション）

設定したモーションパターンが表示されます。（、、）
このとき◎（練習）を押すと、設定したモーションパターンの練習ができます。
●すでに登録されているモーションパターンは登録できません。エラーが表示され、4の画面に戻ります。他のモーションパターンを設定してください。

タイムアウトする時間を設定する

1「2タイムアウト設定」を選び、◉を押す。

2 タイムアウトする時間（01〜60秒）を入力し、◉を押す。

- お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

クイックショートカットを設定する

1「3クイックショートカット」を選び、◉を押す。

2「1ON」または「2OFF」を選び、◉を押す。

- お買い上げ時には、「2OFF」に設定されています。

その他のユーザーショートカット関連機能

名前変更	ユーザーショートカットの名前を変更します。

◎➡項目選択➡◎（メニュー）➡「名前変更」選択➡◉➡名前修正➡◉

- 絵文字は入力できません。

消去	ユーザーショートカットを消去します。

◎➡項目選択➡◎（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ストップウォッチ

最長24時間（23時間59分59.9秒）まで、1／10秒単位で時間（タイム）を計測できます。計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記録できます。

- 計測したタイムは、最新の5件までのラップタイムと合わせて、V501SHまたはメモリカードのテキストメモに登録できます。
- 電池残量が少なくなると、ストップウォッチは止まります。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能 ▶ ストップウォッチ

1 ◉を押す。

タイムの計測が始まります。

- ラップタイムの記録：◎（LAP）
  - ■ビューアポジション操作時：C（1秒以上）／◀

2 止めるときは、もう一度◉を押す。

途中でラップタイムを記録すると、最新の5件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

- テキストメモ登録：◎（**メニュー**）➡「**テキストメモ登録**」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
- 登録済のタイムの確認：◎（**メニュー**）➡「**テキストメモ参照**」選択➡◉➡ファイル選択➡◉
- 再スタート：◉
- 計測タイムの消去：◎（**リセット**）
  - ■ビューアポジション操作時：S（1秒以上）